

経済学へのアプローチ **+**
名古屋大学大学院経済学研究科案内 2024

APPROACH **+**

GRADUATE SCHOOL OF ECONOMICS





理論 × 実践 × 倫理

経済学・経営学の特徴はその総合性にあります。経済学・経営学は、第一義的にはサイエンスであり、経済社会を対象とするディシプリンとして、普遍的に成立する抽象的な理論やモデルを志向します。そのために、先行研究を踏まえて自身の仮説を提示し、資料やデータを集めて仮説の成否を検証するという手続きが繰り返されます。他方で、経済学・経営学は実学でもあります。われわれは家計、企業、政府、その他あらゆる経済主体の提起する課題に対し、適切な解答を用意しなければなりません。そこで求められるものは、科学的に確証され普遍的に成立する理論に留まらず、日本であれ、アジアであれ、当該個別社会において観察される一般的知見や経験であるかもしれません。さらに、人々

の厚生の上、経済社会的正義の実現を目指す過程においては、人文的叡智に裏付けられた倫理的価値判断も避けられません。

経済学・経営学において、これらの要素の結びつきは不可分です。他の社会科学分野でも、同じような理論・実践・倫理の三要素の交絡はあるでしょう。しかし、経済学・経営学ほどの緊張関係にはないと思われます。近年は専門分化が進み、ともすれば視野狭窄に陥りがちですが、私たちは、この経済学・経営学に固有の不可分性・総合性を常に意識して、研究と教育を進めています。

「創統の鐘」の由来

「創統の鐘」は、名古屋大学経済学部の前身である名古屋高等商業学校の第一回卒業生によって寄贈された其湛塔の塔頂にあつて、二十有余年に亘り授業の開始と終了を告げた時鐘であります。

その妙音は近隣の市民にも愛されましたが、太平洋戦争の深刻化とともに、塔は取り壊され鉄材として供出されました。幸い「創統の鐘」は難を逃れ、名古屋大学経済学部に継承され、今日に至っております。

鐘銘は初代校長渡辺龍聖氏の撰になるもので、出典は孟子・二巻の「君子創業垂統、為可繼也」君子は業を創め統を垂れ、継ぐべきことを為さんのみ（君子はのちに発展する事業の基礎を築き、その事業を子孫に伝えるようにすればよい）にあります。先人の志を後輩が受け継いで発展させる、この「創統の精神」が鐘の音とともに永遠に本学に伝えられることを祈念いたします。



双方向の対話を通じて鍛える

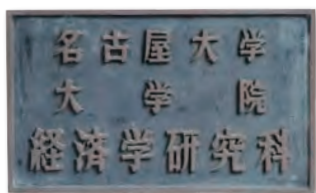
問う力・考える力・説明する力

大学院における学修は、講義科目を履修して単位を取得する、あるいは、本や論文を読んだたくさんの知識を身につけることが中心ではありません。むしろ、指導教員との双方向の対話を通じて、研究テーマについて考え、修士論文・博士論文を執筆することが中心です。論文作成の一般的な流れは次の通りです。

多くの場合、研究のテーマは指導教員によって与えられるのではなく、学生自らが見つけ出さなければなりません。そのためには、まず、「どんな問題を解決すれば、我々の『知』が一步前進するのか」を考えます。つまり、まずは「解」ではなく「問い」を発する力を付けなければなりません。「問い」が決まったら、実は「問い」を探る過程において「解」の見当はついていないことが多いのです。ただし、それが間違っていないことを、丹念な論証と実証の

積み重ねによって確認します。「解」に辿り着いたら、それを論文にまとめます。論文では、自分の発した「問い」がいかに重要であるか、どのような手順で「解」に辿り着こうとするのか、そして、どのような「解」が導かれるのかを、順序よく説明します。

このようなプロセスを経験することによって、価値ある「問い」を発する力、科学的な方法で「考える力」、論理的に「説明する力」を身につけます。



大学院の開講科目例（2022年度）

分野	基礎科目	専門科目	課題設定型講義・ワークショップ
理論・政策	上級価格理論Ⅰ・Ⅱ 上級所得理論Ⅰ・Ⅱ 上級計量経済Ⅰ・Ⅱ 上級数理経済Ⅰ・Ⅱ 価格理論Ⅰ・Ⅱ 所得理論Ⅰ・Ⅱ エコノメトリクスⅠ・Ⅱ	国際経済 A・B 公共経済 A・B 経済政策 A・B 農業経済 A・B 労働経済 A・B 産業組織 A・B 財政 A・B 金融 A・B	ミクロ・マクロ経済分析：理論と実証 ミクロ実証論文の読み方 日本経済論 International Communication（英語） 社会経済研究
制度・歴史	上級政治経済学Ⅰ・Ⅱ 上級経済史Ⅰ・Ⅱ 上級経済学史Ⅰ・Ⅱ	現代資本主義 A・B 経済学史 A・B 社会思想史 A・B 日本経済史 A・B 西洋経済史 A・B	
経営・会計	上級経営Ⅰ・Ⅱ 上級会計Ⅰ・Ⅱ マネジメントⅠ・Ⅱ アカウンティングⅠ・Ⅱ	経営労務 A・B ファイナンス A・B 生産管理 A・B マーケティング A・B 経営組織 A・B 経営戦略 A・B 財務会計 A・B 管理会計 A・B 監査 A・B 経営分析 A・B 国際会計 A・B 経営情報 A・B	経済体制と企業経営 Introductory Accounting（英語） 現代経営論 人事管理 危機管理論 知財戦略 企業の海外戦略

※修了のためには、前期課程では演習を含め30単位（15科目）、後期課程では演習を含め20単位（10科目）を履修が標準必要です。

※本研究科では、レギュラーで開講される基礎科目・専門科目以外に、課題設定型講義、課題設定型ワークショップとして、その時々ニーズに合わせた科目や最先端の研究に触れる機会を提供しています。



理論×実践

社会人大学院生として学ぶ

経済学や経営学の面白さは、二十歳前後の実社会を知らない若者には分かりにくい部分があります。職に就いて、世の中や組織の仕組みを知ると、経済学や経営学への興味が湧き、面白さも分かってくるのではないのでしょうか。大学を卒業して就職したものの、「もう一度勉強してみたい」「もう少し勉強してみたい」「あのとき聞いた話をもう一度聞きたい」、そんな社会人の要請に応えるためのカリキュラムを用意しています。

土曜日開講の集中講義や、夜間（18～15分以降）に開講される講義を充実させるほか、実務経験豊富な方を講師に迎えた講義も開講しています。また、社会人大学院生どうしの交流も活発に行われ、他企業、異業種との交流の場にもなっています。社会人が実務における問題や経験を持ち寄って集い、実務とアカデミズムとが切磋琢磨しあえる、そんな学びの場を提供したいと思っています。

実務家非常勤講師の一部（2023年度）

日本経済論	名古屋大学 客員教授 元 東海銀行 専務取締役	水谷 研治
現代経営論	経営コンサルタント 元 スタジオアリス 副会長	伊貝 武臣
企業の海外戦略	元 トヨタ自動車 常務役員 元 東海理化 社長	牛山 雄造
危機管理論	三重大学 特任教授 元 石原産業 グループリーダー	岡 良明
知財戦略	確氷特許事務所 所長 元 デンソー知的財産部 部長	確氷 裕彦
人事管理	V字経営研究所 社長 元 三菱UFJリサーチ & コンサルタント 部長	酒井 英之
アカウンティングII	名古屋大学 特任教授 元 アイシン精機経理部 財務担当主査	大西 淳



他分野×経済学

他学部を卒業して経済・経営を学ぶ

経済学・経営学は、法学、数学、工学、政治学、倫理学、心理学、統計学、物理学など、他の学問分野の影響を受けながら発展してきました。最近では、様々な領域融合型の大学院が開設されていますが、経済学・経営学は、まさに文理融合・領域融合の学問であり、その成功事例と言えるでしょう。今では、確立された一つの学問分野であることに誰も疑いを持ちません。

しかし、経済学・経営学を発展させるためには、今後もまだまだ他分野の知識が必要です。他の学部で培った専門的知識は経済学研究科でも活かされることでしょう。

本研究科は、経済学部以外の学部を卒業した人も広く受け入れています。これまでにも、理学部、法学部、文学部、工学部などの卒業生を受け入れてきました。また、研究科の教員にも、経済学部以外の学部を卒業した教員がたくさんいます。こうした仲間や教員と日常的に関わることで、専門的知識だけでなく、異分野の人とのコミュニケーションを可能にする、幅広い教養や知識、論理的思考力を自然と身につけることができます。

荒山裕行（名誉教授：農学部卒）	農業経済	安藤隆穂（名誉教授：法学部卒）	社会思想史
鈴木智之（准教授：総合政策学部卒）	人的資源管理	大塚 篤（教授：工学部卒）	経営組織論
高桑宗右エ門（名誉教授：工学部卒）	経営情報論	鍋島直樹（教授：教育学部卒）	政治経済学
樋野 励（教授：工学部卒）	生産管理論	中島英喜（准教授：工学部卒）	ファイナンス



大学院修了後の進路

大学院修了後は、専門知識を活かした職業に就くことが多いようです。前期課程（修士課程）を修了して就職する場合には、金融機関、監査法人、あるいは官公庁への就職が目立ちます。後期課程（博士課程）を修了して就職する場合には、大学などの研究職に就くことがほとんどです。

■前期課程

青山製作所、アクセセンチュア、OKB総研、大塚製薬、共生バンクグループ、ケイユニフォームサービス、十六総合研究所、TAC設計室、中外テクノス、東海財務局、東光高岳、東洋電機、トランコム、名古屋市役所、名古屋大学、日本銀行、日本IBM、日本タタ・コンサルタンシー・サービス、ブレインズテクノロジー、防衛省

■後期課程

みずほ銀行、三井住友銀行（中国）有限公司、三菱ケミカル、三菱UFJ銀行、りそな銀行 ほか
アクセセンチュア、中部大学、東海東京証券、名古屋市役所、名古屋大学経済学研究科、国際経済政策研究センター（Universitas Hasanudin）、立命館大学 ほか



トヨタ自動車(株)
車両工務部 工場経営戦略室
主任

野瀬 康晃さん
2022年度社会人コース修了

私は、実務上の疑問や課題について理論から学び直し、専門性を向上させることで、キャリアを充実させたいと考えて大学院を志しました。仕事と学業の両立には不安もありましたが、夜間・土曜日の講義もあり、指導教員をはじめとする多くの先生方に支えられて、無事に2年間で修了することができました。また、社会人大学院生の仲間も多く、多様な実務経験とアカデミズムが交流することで生まれる活発な議論から、多くの

学びや洞察を得ることができました。修士論文の作成では、自らの問題意識や問いを明確に言語化することに、力を注ぎました。この過程で、先生方との対話や先行研究の調査を通じ、これまで当然のように「こうあるべき」と考えていたことの本質を深く追究することができました。修士課程修了後は博士課程に進学しました。今後も、理論と実践を融合させたアプローチで、より価値ある問いを探究し続けたいと思います。

大学院入試情報

出願書類受付期間（一般入試・社会人一般コース共通） 第一次募集 → 8月中旬頃 第二次募集 → 12月下旬頃

博士前期課程一般入試

- 出願資格
大学を卒業した者及び出願年度の3月31日までに卒業見込みの者
- 募集人員
○社会経済システム専攻 30名 ○産業経営システム専攻 14名
- 選抜の方法（第一次募集）
 - 第一次試験（学科試験）
 - 第二次試験（口述試験）〈第一次試験合格者のみ〉※英語能力については、TOEFL-iBT / TOEIC / IELTSの成績通知書によって評価します。

博士前期課程社会人一般コース

- 出願資格
大学を卒業した後、通算して満3年以上の社会経験を有する社会人
- 募集人員
10名程度
- 選抜の方法（第一次募集）
 - 第一次試験（学科試験）
 - 第二次試験（口述試験）〈第一次試験合格者のみ〉

第一次募集の学科試験の詳細は以下の通り

専攻	一般入試	社会人一般コース
社会経済システム専攻	A類（ミクロ経済学・マクロ経済学・計量経済学（統計学分野を含む）） B類（政治経済学・経済史）	A類は3題、B・C・D類は各2題出題される。受験者は、A～D類より合計2題を選択すること。ただし、自分の申請した専攻に対応する類の中から少なくとも1題は選択すること。
産業経営システム専攻	C類（経営学） D類（会計学）	
	E類（経済・経営事情関係）	

【問い合わせ先】名古屋大学文系教務課（経済G） MAIL. soec-apply@adm.nagoya-u.ac.jp
※詳細は経済学研究科ホームページをご確認ください。

経済学部・経済学研究科同窓会「キタン会」

各界の第一線で活躍する先輩

名古屋大学経済学部・経済学研究科には「キタン（其湛）会」という、名古屋高等商業学校（1920年創立）から受け継がれた同窓会組織があります。その名称は、中国の古典『詩経』『小雅』篇にある「子孫其湛其湛曰楽各奏爾能」（天から幸福を授かり、子孫がその恵みを楽しみ、得意の技能を披露している）という子孫繁栄の祝歌から採ったもので、「母校の発展を願ってきた多くの先輩の志を受け継ぎ、後輩の幸福に寄与する」という意味があります。2万1000人以上

上の卒業生のために、北海道、東京、関西をはじめ全国に9の支部を設けています。また、名古屋市職員で組織する「丸八キタン会」や、企業・団体別に同窓会を組織しているところもあります。キタン会は、卒業生の親睦を深めるだけでなく、経済学部や経済学研究科に対して各種の支援事業（留学支援など）を行ってくれています。入学時から、在学中、卒業時まで、みなさんの学生生活を財政面と人的ネットワークの面から支えています。

活 動 内 容

『世代を超えて有意義な時間を共に過ごせる場』です。 繋がりネットワークをつくろう！

キタン会は年間を通じて、パーティーや交流会を主催しています。

入学時には2・3年生が新入生のために企画するウェルカムパーティーがあり、新入生の9割以上が参加して、先輩とふれあい、新しい友と出会う楽しいひとときとなっています。6月名大祭・10月ホームカミングデーにはキタン学生交流会を企画し世代を超えての交流を深めています。1月にはニューイヤーパーティーを開催しています。企業のトップや各界で活躍するOB/OGの参加があり、スゴイ先輩たちと親しく話し学ぶこともたくさんあり貴重な機会となります。3月にはフェアウェルパーティー



を開催しています。

メルマガ・Facebookで『タイムリーな情報』を発信しています。

学業も就職活動も支援します！

フライブルク大学（ドイツ）へのサマースクール、ハノイ貿易大学（ベトナム）やシンガポール国立大学への海外研修プロジェクトなど短期留学の助成をしています。

企業研究や就職活動を支援するためにTOYOTA、豊田自動織機、大同特殊鋼、麒麟ビール、日本ガイシ、アイシン精機、デンソーなどの工場見学会、中部電力・東邦ガスのインフラ施設の見学会などを開催しています。見学後にOBとの懇親会もあります。そのほか、就活生に人気の企業による「キャリア形成講習」を開催しています。就活生以外の学年の参加もあり、自分に適した企業・業界を発見できます。さらに、各企業の先輩や内定



者による就活相談会も開催しています。先輩だから相談できること、OBならではの話を聞くこともできます。



キタン会 会長
鈴木 武

刈谷高から、1970年経済学部卒。
(元)トヨタ自動車・専務
(現)東海国立大学機構・理事

同窓の絆！・交流の場！を大切にしています。

キタン会のロゴマークは同窓生・学生・教員の《三つの和（輪）》があつてこそ、お互いの繁栄が得られるとの「其湛」の精神を著しています。

ネット社会の利便性を利用してオンライン開催の交流もありますが、三つの和（輪）がさらに広がり、世代を超えた交流ができることを願っています。

附属機関・施設

学部生・院生の学びをフォロー

名古屋大学には、中央図書館の他に、各学部の図書室があります。経済学図書室は、その蔵書の質と量、閲覧環境等において、名古屋大学の学部図書室の中でも指折りの図

書室です。また、経済学部・経済学研究科には国際経済政策研究センターがあり、各種の統計データ、産業、企業、労働等に関する資料を入手することができます。

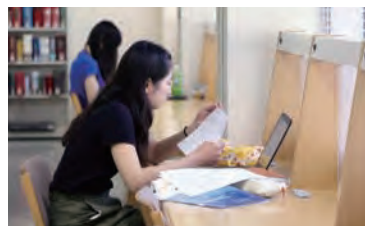
経済学図書室

経済学図書室は、国内外の経済学及び周辺分野の図書、雑誌、電子ジャーナル、最新のデータベース、電子書籍を揃えています。なかでも、EU、OECD、IMF等の国際機関刊行物、アメリカ等外国政府刊行物は蔵書の特色の一つです。特にEUについては、イギリス等がECに加盟した1973年以来、経済学図書室はEU情報センターに指定され、EU公式資料の主たるものはほとんど受け入れています。

また、伝統ある経済学、社会思想の古典類についてもよく収集されており、貴重書室には、1850年以前に刊行された図



書が、革の背をみせて並んでいます。中には、アダム・スミスの『国富論』、マルクスの『資本論』、ケインズの『雇用、



利子および貨幣の一般理論』の初版本等もあります。経済学の礎を築いたり、世界史を動かすものになった名著が、出版時の雰囲気や今に伝えています。この他に、「イギリス革命文獻コレクション」（イギリス革命に関する17世紀から18世紀の原資料およびその研究文献）、小川文庫（イギリス経済学とくに重商主義者、古典学派、リカード派、社会主義派の著作）、徳重文庫（18世紀および19世紀の西欧社会思想）もあります。

さらに、経済学部ゼミ対象の講習会「経済産業情報の探し方」を毎年開催し、学習・研究に必要な文献やデータなどの情報収集方法を紹介しています。カウンターでも利用相談や参考調査を随時受け付けています。

国際経済政策研究センター

国際経済政策研究センターの起源は、名古屋大学経済学部の前身である名古屋高等商業学校（1920年創立）に設けられた産業調査室です。後に「雁行形態論」で国際的に有名になる赤松要が、実証に基礎づけられた経済の研究をするためには、統計などを体系的に収集する組織が必要であると訴えて、1926年に産業調査室が設置されました。

これを継承した名古屋大学経済学部・経済学研究科は、今日まで、着々とデータを集め続けてきました。100年近くにわたって地道に蓄積された経済統計資料、政府刊行物、企業



体資料の内容は中部地区では抜きでたもので、たとえ大金をつぎ込んでも今からではもう決して作られない貴重な財産となっております。この他、社史の収集や荒木光太郎文書（元東京帝国大学経済学部教授のコレクション）をはじめ、所蔵コレクションの整理も積極的に行っており、学内外から幅広く利用されております。もっとも、今日では単なる資料収集・整理組織ではありません。1970年代からの度重なる改組によって、研究機関としても着実に発展してきました。研究・教育の両面で経済学研究科と緊密に協力しつつ、広い視点から実証的な調査・研究を行っています。そして、その成果を内外の大学や研究機関をはじめ、広く社会に還元しています。

大学院進学

大学卒業後、さらに深く学ぼうとする人のための教育・研究のための場が大学院です。大学院は、単に研究者になるためだけのものではありません。大学院には2年の前期課程（修士課程）とその後3年の後期課程（博士課程）があり、前期課程を修了した時点で企業などに就職する道も開かれています。

大学院では、講義を通じて教科書の内容を学ぶだけでなく、指導教員の下で、専門書や論文を読み、実地調査やデータの分析を通じて、学問の本質に迫ります。一方的に知識

を教えられるのではなく、指導教員との双方向の対話を通じて「問う力」「考える力」「説明する力」を身につけます。また、大学院には留学生や社会人として大学院に通っている人達がたくさんいます。こうした多様な人達と触れあい、視野を広げられることも大学院の魅力です。

企業に就職する前に、社会を俯瞰的に捉えられるようになりたい、人とは違う新しい発想をしてみたい、自分の意思決定に自信を持てるようになりたい、そう思ったら、大学院進学も良いかもしれません。



経済学研究科
社会経済システム専攻
令和元年度 日本学術振興会
育志賞受賞
D3 刑部 磁音 さん

私が大学院への進学を決めた動機は、「もっと経済学に関して勉強したい、理解を深めたい」という漠然としたものでした。進学してしばらくは、周囲のレベルの高さに圧倒され、また適切な課題設定がなかなかできず、思い悩むことも多くありました。しかし、先生方や先輩方から様々なアドバイスをいただき、同期とお互いの考えを話し合う中で学習を深め、また自分が目指すべきものが見えてくるようになりました。

私は現在、プロスポーツリーグがその魅力を高めるために何を求められ、どのような仕組みを作るべきなのか、ということを経済学的に研究しています。日本では、プロ野球やJリーグが年々観

客動員数を増やす一方で、近年では、卓球などの新たなスポーツや、eスポーツリーグなど、様々なスポーツリーグが誕生しています。それらを一過性のブームで終わらせないためには、所属チームの個々の努力だけでなく、リーグの仕組み自体を適切に設計する必要があります。

私の研究は、社会構造に大きな影響を与えるものではありませんが、そんな研究に対しても教員の方やゼミの仲間は一笑に付すことなく意見を述べてくださいます。もちろん楽しいことばかりではありません。しかし、どんなテーマでも、それを経済学的に追究したいという思いがある方ならば、大学院は有力な進路になりうるでしょう。

卒業生就職等状況一覧表

業 種	2020年度	2021年度	2022年度
1 農 林 ・ 水 産 業			
2 鉱 業			
3 建 築 業	3	3	7
4 食品・たばこ・飲料		1	2
5 繊維・衣類・その他の繊維			
6 印刷等			
7 化学工業・石油・石炭製品	5	7	5
8 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品	2	2	4
9 一般機械器具	12	5	4
10 電気・情報通信・機械器具	10	10	11
11 電子部品・デバイス			1
12 輸送用機械器具	16	7	12
13 精密機械器具			
14 その他	6	3	6
15 電気・ガス・水道業	6	11	5
16 情報通信業	28	37	30
17 運輸業	7	5	6
18 卸売業	6	7	4

業 種	2020年度	2021年度	2022年度
19 小 売 業	4	4	7
20 金 融 業	24	44	22
21 保 険 業	7	10	9
22 不 動 産 業	2	6	5
23 飲 食 店 ・ 宿 泊 業			2
24 医 療 ・ 福 祉	1		
25 教育 ・ 学 習 支 援 業		3	
26 複 合 サ ー ビ ス 事 業	1	1	
27 サ ー ビ ス 業	28	4	28
28 国 家 公 務	7	2	5
29 地 方 公 務	13	14	16
30 そ の 他	4	29	2
小 計	192	215	193
31 大 学 院 進 学	6	9	7
32 そ の 他	27	17	18
計	225	241	218



卒業後の進路

就職率だけでなく、それぞれの適性にあった就職を支援

本学部では、毎年、ほぼ100%の学生が希望通りに就職しており、各種調査による、経済・経営・商学系の就職率ランキングでは、全国1位になっています。就職先は、製造業、サービス業、公務員まで多岐にわたります。また、毎年20～30名ほどの学生が公認会計士の資格取得を目指しています。

また、本学部では、同窓会であるキタン会と連携して、

単に有名企業や人気企業への就職を目指すのではなく、学生ができるだけ幅広い業種に目を向けて、適性にあった就職先を見つけるための支援もしています。例えば東証プライム上場企業を中心とした60社以上の企業による「キャリア形成講習」の開催、年齢の比較的近いOBと懇談できる企業見学会を開催するなどしています。



2018年度卒業
学校法人河合塾
河合 聖人 さん

自らの将来に向け、“自分の想い”を具現化してくれる、それが名古屋大学の特長です。就職サポートはその一例であると思います。就活期になれば、大学では企業説明会や就職セミナーが頻繁に催されます。それだけでなく、経済学部は多くの仲間や先輩、卒業生との繋がりが強いのも大きな特長です。あらゆる業界にOB・OGがいますので、この繋がりにいろいろな話を聞くことができます。私も多くの先輩から、業界の実際の話や将来のビジョンを聞くことができ、自分が「何に向いているのか」、更には大学生のうちから将来のキャリア形成に具体的なイメージを持つことができました。このような環境から“自分の想い”を実現できる進路へ繋げることができます。また、就職サポ-

ートだけでなく、カリキュラムの中で経済学に関する専門講義以外にもキャリア形成にまつわる講義があり、「将来、自分がどのように社会で活躍していけるのか？」ということを考えることができます。

私は“多くの人に影響を与える仕事がしたい”という漠然とした理想を持っていました。その理想を具体的にどう昇華していくのか突き詰めていき、今の仕事に繋げることができました。これはひとえに名古屋大学での4年間を通じて学んだこと、出会いがあったからこそだと確信しています。自らの将来、可能性を創り出すきっかけを与えてくれるのが名古屋大学です。皆さんも、自分の将来を豊かにする大学生活をきつと送れます。



2020年度卒業
三菱商事株式会社
藤枝 丈 さん

“人生の夏休み”と称される大学生活の中で、就職活動は多くの人にとって憂鬱な時間です。そんな就職活動を僅か乍らも明るいものにすべく二点だけ伝えたい事があります。まず兎に角多くの社会人と出会って下さい。社会には想像よりも多くの仕事が存在し、皆さんの知らない世界が広がっています。それを知るには自ら経験するが、経験した人と出会うしかないのです。恵まれた事に、名大経済学部には一般企業の社員や公務員、起業家から、公認会計士のような専門家まで幅広く活躍するOBが数多く存在し、接点を持つ機会も多く存在します。そうした自分のキャリアの幅を広げる機会を大事に過ごして下さい。

次に、自ら不足するものを補い成長する機会を

大切にして下さい。就職活動中、殆どの人は何かしら失敗をし、投げ出したくなる瞬間が訪れます。それを繰り返す内に、暗闇の中に光が差すように自分自身が克服すべき課題がぼんやりと分かる瞬間があります。そんな時に自分の成長を促し、暗闇を晴らす助けとなる講義/ゼミや、それを支えてくれる優秀な仲間や講師陣が名大には揃っています。今の私があるのは、この環境で過ごし、多くの人と出会い、経験を積み、成長する事が出来たからだだと確信しています。未来を切り開くのは皆さん自身です。そんな明るい未来を切り開く為に、次のステップとして名大経済学部を選択し、充実したキャンパスライフを過ごしてみては如何でしょうか。

主な就職先（2023年3月卒業）

愛知県警察本部、愛知県庁、アクセンチュア、あずさ監査法人、アドヴィックス、一条工務店、一宮市役所、EIZO、SCSK、NTT docomo、エヌ・ティ・ティ・データ、NTTファイナンス、ENEOS、大分県庁、大垣共立銀行、大林組、オービック、オープンハウスグループ、オリエンタルランド、オリックス生命保険、鹿島建設、加藤建設、川崎重工業、関西電力、かんぽ生命保険、ゲンキー、SUNTORY、ジェイアール東海ホテルズ、JFEスチール、JCOM、JTBビジネストラベルソリューションズ、JERA、静岡ガス、静岡銀行、十六銀行、住友化学、住友生命保険、住友電気工業、大成建設、大東建託リーシング、太平洋セメント、大和証券、TAC、中部経済産業局、中部テレコミュニケーション、DMG森精機、テレビ大阪、デンソー、東海財務局、東海旅客鉄道、東急、東京海上日動火災保険、東京都庁、東芝、東邦ガス、有限責任監査法人トーマツ、トヨタ自動車、豊田自動織機、トヨタ車体、豊田通商、トヨタホーム、豊橋市役所、名古屋銀行、名古屋市役所、名古屋税関、名古屋鉄道、名古屋テレビ放送、西尾信用金庫、西日本電信電話、西日本旅客鉄道、日産自動車、日鉄エンジニアリング、ニトリホールディングス、日本ガイシ、日本生命保険、日本電気、日本メトロニック、農林中央金庫、野村證券、博報堂、パナソニックコネクト、林テンプ、阪急阪神ホールディングス、バンダイナムコビジネスアーク、PwCあらた有限責任監査法人、日立製作所、ビッグツリーテクノロジー&コンサルティング、百五銀行、広島東洋カープ、ファーストリテイリング、ファミリーマート、福井県庁、不二越、富士通、ブラザー工業、プロアクシアコンサルティング、ペイカレント・コンサルティング、防衛省、北陸銀行、マネックス証券、三重県庁、三井化学、三井住友海上火災保険、三菱電機、三菱UFJ銀行、三菱UFJニコス、村田製作所、明治安田生命保険、森永乳業、焼津市役所、ゆうちょ銀行、ライオン、楽天グループ、楽天証券、リクルート、リンナイ、ロッテ ほか



学部・修士5年一貫教育プログラムで学ぶ

+ 1年で取得するプロフェッショナルへのパスポート

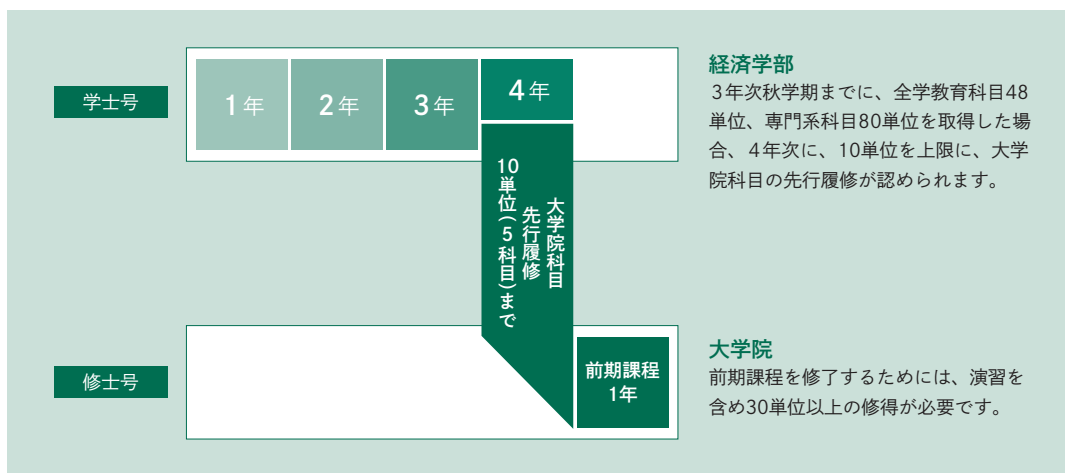
経済学部の4年の課程を修了すると、みなさんには、「学士」という学位が授与されます。その後、大学院で2年の課程（前期課程）を修了すると「修士」、さらにその後3年の課程（後期課程）を修了すると「博士」の学位が授与されます。修士は「マスター」、博士は「ドクター」ともよばれます。修士号を取得するということは、先端的な研究についてもよく理解して、学術的な調査や分析の方法を修得しているということです。

日本の、特に文系の学部では、修士・博士という学位を取得することは、あまり重要視されていないようです。しかし、

日本でも、理系の学部では修士の学位を持つことは普通になっています。また、海外では、どこかの大学を卒業したかに加えて、学士・修士・博士という学位の違いが意識されることも多いようです。将来、グローバルな企業で働こうと思っている人は、修士号を取得しておいても損をすることはないでしょう。

名古屋大学の経済学部には、学部4年+修士2年の計6年の課程を5年（学部4年+修士1年）で短縮修了できるプログラムがあります。3年次に一定の成績基準を満たしている学生はこのプログラムに挑戦することができます。

■ 学部・修士5年一貫教育プログラムの仕組み



わたしが大学院で学ぶ理由

経済学部 経済学科 4年 岡野 太郎 さん

私が経済学部に進学したのは、社会の動きを経済学の視点から分析してみたいと思ったからでした。そして、学部3年次にゼミに入り、経済学の分析する手法を学ぶ中で、実証的な経済分析に関心を持ち、より高度な分析がしたいと思い学部・修士5年一貫課程に応募しました。

本プログラムでは、4年次から大学院の授業を履修できるので、学部レベルよりも高度な知識やスキルを身につけることができると感じています。加えて、先生や先輩の助けを借りながらですが、興味のあるテーマについて、自分で調査や

分析を行うことができるため、自分の中で考え方の軸を作る絶好の機会となっています。

しかし、大学院で学ぶことは決して楽なことではないとも痛感しています。思ったような結果が出ないこともたくさんあります。それでも、自分の関心や志向に合った研究をすることは、やりがいや充実感も大きいです。これからも実証分析のスキルアップだけでなく、経済学を通じ、考え方の軸を確立していきたいと思っています。



海外派遣プログラムで学ぶ

大学全体のプログラムに加え、経済学部独自の海外派遣プログラムも充実

名古屋大学経済学部では、グローバル人材の育成を目指して、複数の国際交流プログラムを提供しています。例えば、ドイツ・フライブルク大学への夏期派遣プログラム、ベトナム貿易大学への派遣プログラム、シンガポール国立大学への派遣プログラムなどがあります。1学年205名の入学定員に対して約40名分の枠が用意されているため、5人に1人はこれらのプログラムを利用して海外経験をすることになります。また、これらの派遣プログラムでは、政府や企業、大学や同窓会（キタン会）から資金的な支援を頂いて、学生の渡航費用を補助しています。

学生の派遣だけではなく、ベトナムやシンガポールなど

の海外協定大学の学生の受け入れも行っています。日本にきた学生は、学内で講義を受講するだけでなく、名古屋大学の学生と一緒に工場見学やグループワークに参加しています。名古屋大学の学生は、日本に居ながらにして、あるいは、自分が海外派遣プログラムに参加する前に、国内で海外の優秀な学生と触れあい、一緒に学ぶことができます。

さらに、名古屋大学全体としても、世界に100以上の協定大学をもち、数多くの海外派遣プログラムを提供していますので、学生は自分の語学レベルや目的に合ったプログラムを選択することができます。経済学部の派遣プログラムを経験した学生の多くが、その後、交換留学しています。



●ベトナム貿易大学への派遣

時期：11月頃／日数：2週間／人数：20名程度／内容：日本企業の訪問・研究報告



●シンガポール国立大学への派遣

時期：2月頃／日数：10日間／人数：10名程度／内容：日本企業の訪問・現地学生とのディスカッション



●フライブルク大学への派遣

時期：9月頃／日数：4週間／人数：10名程度／内容：語学研修・フィールドワーク



経済学部 経済学科
4年 小島 未莉 さん

私は経済学部内の留学プログラムで、1年生と2年生の7月に名古屋大学での受入プログラムに参加し、1年生の春休みには2週間の派遣プログラムでシンガポール国立大学に行きました。シンガポールの学生たちは、積極的で作業にスピード感があるので圧倒され、自分の実力のなさを感じました。私はその中で、みんなの意見を聞いてまとめたり、勇気を出して自分の意見を言ったりするなど、自分にできることを見つけようと思いました。プログラム以外の時間では、お互いの趣味や好きなこと、そして将来の夢について話をして仲良くなりました。

2年生の夏には、ドイツ、フライブルク大学の

研修にも参加しました。午前中は、サマースクール語学プログラムに参加し、午後の自由時間には、個人研究のフィールドワークを進めました。世界中から集まる多様なバックグラウンドを持つ学生との交流を通して、今までにない価値観や考えに出会い、自分の考えの狭さを感じました。そして、多くの異なる考え方の中で押しつぶされずに活躍できる人材になりたいと思いました。

経済学部が提供する研修は、渡航前後の支援が充実しています。恐れずに今後も挑戦していきたいです。

シンガポール国立大学の学生コメント

名古屋大学の近郊にある自動車工場の見学をすることができ、「Kaizen」や「Kanban」方式を見ることができました。その後、名古屋大学の学生と一緒に工場の管理や生産方式について議論することができたのは非常に有意義でした。また、シンガポールでの市場のシェアが50%を超えている飲料メーカーが名古屋発祥であることを知り驚きました。工場見学を行い、そこでマーケティング戦略についての説明を聞きました。同じ商品を世界中で

提供するのではなく、「正しい商品を、求められる市場へ」という考え方はとても興味深く、市場戦略の新しい学びとなりました。これらの工場見学に行ったとき、日本語の説明文や企業側の解説を名古屋大学の学生がわかりやすく英語に翻訳してくれて、関連する戦略や課題について議論することができたのは、とても価値のある経験でした。



プロフェッショナルを目指す

大学での学びをキャリアにつなげる

経済学部では、資格試験の教育で実績がある学校法人名古屋大原学園と会計専門職育成に関する業務提携を結び、公認会計士試験の受験対策講座を開講しています。(受講には別途受講料が必要です。)

公認会計士の魅力

公認会計士は会計のプロフェッショナルです。主な仕事は、企業が作成する財務諸表(決算書)に虚偽がないかをチェックする「監査」ですが、その他にも起業の支援やコンサルティングなど、活躍の領域は多岐にわたります。

また、公認会計士資格を持っていることは、一般企業への就職でも有利です。国家資格を武器にすることで、特定の会社依存せず自由に仕事を選べます。

世界的な人気企業で働く

右上の表は、世界の人気企業のランキングです。Google, Apple, Microsoftなどと並んでランクインしているのが監査法人です。公認会計士は、多くの場合、これらの監査法人で働くことになります。国内の人気企業だけではなく、世界的な人気企業を目指してみてもいいでしょう。

Business Students	
Employer	2022
Apple	1
Google	2
Microsoft	3
Amazon	4
L'Oréal Group	5
Deloitte	6
JPMorgan Chase & Company	7
Goldman Sachs	8
EY (Emst&Young)	9
KPMG	10
PwC (PricewaterhouseCoopers)	11
BMW Group	12

(出所) Universum 「World's Most Attractive Employers | 2022」

講座の特徴

公認会計士講座の授業は、大学の授業期間中は大学の校舎内で受講することができるので、移動に時間を使わずに済みます。また、大学の時間割や定期試験の日程に合わせた、受講しやすいカリキュラムになっています。

また、専用の教室が用意されていて、授業のないときは、自習室として自由に使うことができます。この部屋で仲間ができて、一緒に勉強を頑張ることができます。

大学授業と被らないよう、平日・土曜に授業を実施		春休みは大原で集中授業		短答対策の問題演習				
2023年 4月	11月	2024年 2月	4月	8月	12月	2025年 5月	8月	11月
簿記3級・2級の内容を学習※1	大学で授業	大原で授業	大学と大原で授業※2	大原で演習※2と授業	大原で演習※2と授業※3	大原で演習	就職活動	
日商簿記検定2級を受験			短答式試験		短答式試験	論文式試験	論文式試験合格発表	

※1…名古屋大学の授業科目の内、簿記3級は『会計Ⅰ』を、簿記2級は『会計Ⅱ』・『財務諸表Ⅰ』を履修することで学習が可能です。
簿記3級・2級を学習していない方は、事前にご相談ください。(学習開始時期が異なってくる場合があります。)

※2…ST演習と呼ばれる1時間の財務・管理の問題演習があります。

※3…短答式の試験科目ではない選択科目・租税法の授業があります。



榊原 弘恭 さん

現役一発合格

2018年	名古屋大学経済学部入学
同年秋	公認会計士講座開始
2020年	大学3年次に公認会計士試験に合格
2021年	有限責任監査法人トーマツにて、学生非常勤として勤務
2022年	名古屋大学を卒業、有限責任監査法人トーマツに入社

講座の思い出は…

この講座の大きな特徴は、①大学の授業に沿ったスケジュール、②大学内の専用の自習室・教室です。大学の授業に合わせてスケジュールが組まれるため、負担なく大学の授業との両立ができました。また、会計士受験生専用の自習室が用意され、授業もここで受けます。空きコマの時間や、夕方大学内で自習ができます。専用の自習室なので、一緒に勉強する受講生と相談し、助け合いながら勉強を進めることができました。長い戦いになりますが、同じ大学の友人と勉強を進め、合格後は同じ監査法人で働くことができ、今でも仲良くできているのもこの講座の環境のおかげだと思っています。

会計士ならではの体験談

試験合格後、大学卒業までの1年間は学生非常勤として週4日監査法人で働き、卒業後はフルタイムで働いています。この資格を持って監査法人で働くこと、たとえ学生でありながらも、経済の最先端で働く様々な方と同じ場所で働くことができ、時には1人に対応することもあります。若いうちからでもそういった方々と共に働くことができる経験は、責任は大きいですが良い経験になります。多くの会社・業界に触れ、若いうちから多くの経験が積めるのがこの仕事の魅力だと思います。

講座を検討している人へのアドバイス

会計士の資格に対する世間からの信頼は、学生時代に思っていたものよりもはるかに大きいです。独占業務の監査だけではなく、税務、コンサル、教育等、この資格を活かした道はいくらでも広がっています。合格までは険しい道のりですが、この講座で仲間と一緒に勉強すれば合格はかなり近づくはず。将来やりたいことがある方も、そうでない方も、目指して損のない資格です。興味のある方はぜひ目指してみてください。数年後、一緒に働くことを楽しみにしています。



ゼミナールで学ぶ

徹底した少人数制による専門研究と人格的交流の場

経済学部のカリキュラムにおいて、ゼミナールは重要な役割を果たしています。ゼミは必修で、教員と原則8名までの学生によって構成されます。ここで専門分野の研究を集中的に行います。

まず2年次秋学期に、各教員によるゼミのテーマの発表、先輩達によるゼミ紹介などを参考にしてゼミを選択し、書類審査や面接を経て、所属ゼミが決定されます。そして、3年次からゼミが始まります。各ゼミの活動内容は多種多様ですが、一般的には、数冊のテキストを読み、報告・討論する形で運営されます。工場見学や企業調査を行ったりするゼミもあります。また、夏休みには、レポートが課さ

れたり、ゼミ合宿を行ったりすることもあります。インターゼミナール（他大学との研究発表会）に参加するゼミもあります。4年次には、卒業論文の作成が重要な課題となります。研究テーマを絞り込み、より専門的な文献を読んだり、詳細なデータ分析をしたりします。そして1月中旬に、4年間の勉学の集大成として、卒業論文を提出します。

この他にも、ゼミ旅行やコンパ等、ゼミ単位の行事がたくさんあります。このように、ゼミは単に専門知識を学ぶだけの場ではなく、教員や学生同士の人格的交流の場でもあります。ゼミ活動にどのように関わるかで、経済学部の生活は大きく変わるといいでしょう。



玉井ゼミナール

玉井ゼミでは、市場経済において公共部門が果たすべき役割について研究しています。3年生の春学期は、公共経済学の標準的なテキストを用いて公共政策の効果や分析手法の基礎について学びます。続く秋学期は、グループごとに個別のテーマを設定し研究を進め、学期末の研究発表会で報告をします。さらに、4年生では、これまでの学習内容を基礎として、卒業論文の完成をさせるとともに、卒業研究の内容を3・4年生の合同ゼミとなる卒業研究報告会で発表します。

玉井ゼミは、多様な社会問題を広く研究対象と捉え、公共経済学の観点から学びを深めるゼミです。3年次は、『公共事業評価のための経済学』を輪読しました。また、グループワークで「金沢市における都市再生」や「教育と貧困」など、身近な政策や社会課題について意見を交わしました。ディスカッションでは、自分だけでは思い至らない考えを聞くことができ、柔軟で多面的

な思考力を養えました。4年になってからは、卒業研究に取り組みます。私は、「コンパクトシティ政策」をテーマに選びました。和やかで自由な雰囲気の玉井ゼミでは、興味のあるテーマを存分に追究する喜びを味わえます。ゼミ生と互いに刺激し合い、常に新しい気付きを得ていく中で、自分の確かな成長を感じています。

4年 高橋 彩穂 さん



山口ゼミナール

マーケティングを考える上では、消費者を科学的に理解することが重要です。そのための理論や手法を修得し、新たな消費社会を創造する基礎力の構築をゼミの目標としています。3年春学期は、消費者行動論の標準的なテキストを下敷きに、ゼミ生全員参加のディスカッションを通じて、身の回りのマーケティング事象と理論のつながりを見出す力を養います。3年秋学期は、ビジネスデータの解析を通して、数理的に消費者の心理や行動を理解・モデル化する方法を学びます。4年次には各自が設定した研究テーマについて、3年次までに学んだ知識や手法を用いて卒業論文を執筆します。その他ゼミ活動の運営では、懇親会から研究発表会に至るまで、学生の主体性が尊重されます。

山口ゼミでは、マーケティングを切り口に身の回りの事柄を幅広く対象として、それらの要因や仕組みについてまで深く考えていきます。そのため、以前は気にも留めなかったことにまで興味・関心が湧くようになり、より広い視点で物事を捉えようと意識するようになりました。

3年前期は、テーマを自分の中に落とし込んで論理的に考えたり、それをわかりやすく相手に伝えたりすることの難しさを実感しました。山口先生からの丁寧なフィードバックやゼミ生との意

見交換からは多くの刺激を得ることができました。3年後期には外部のデータ解析コンペティションに参加しました。データと向き合い、社会の課題を解決するために自分たちの知識をどう使えば良いのか考えることからとてもやりがいを感じました。

ゼミを通し、教えてもらうだけの姿勢でいては得ることのできない、自らの興味をもとに学んでいくことの楽しさを知ることができました。

4年 杉浦 昂樹 さん



経済と経営を複眼的に学ぶカリキュラム

名古屋大学経済学部のカリキュラムの特徴は、経済理論・経済政策、制度経済学・経済史、経営学・会計学という幅広い分野を網羅していることです。経済学部は経済学科と経営学科とに別れていますが、どちらに所属しても、これらの分野を一通り勉強することになります。これによって、

社会や市場全体を見渡す「経済学的視点」と、個別企業の立場から考える「経営学的視点」を同時に持つ複眼的な人材を育成します。また、歴史を通じて多様な経済体制について学ぶことで、現代社会を様々な切り口で分析できる人材を育成します。

経済学科 個人や企業の自由で合理的な意思決定に基づく社会全体の調和と発展について考えます。

経営学科 集団に調和と秩序を持たせる方法、合理的な意思決定の方法について考えます。

分野	分野の特徴	1年	2年春学期	2年秋学期～4年
理論・政策	「経済学」と聞いて最初に思い浮かべる主流派の経済学（近代経済学）を学びます。数理的な理論分析と統計的な実証分析を通じて、財政、労働、金融、農業、教育、医療などの社会問題を考える方法を学びます。「経済学を学んだ」と言うためには欠かすことのできない分野です。	統計解析 経済数学A 経済数学B マクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅰ 計量経済Ⅰ	マクロ経済学Ⅱ ミクロ経済学Ⅱ 計量経済Ⅱ	国際経済 公共経済 経済政策 財政 金融 経済発展 労働経済 産業組織 農業経済
制度・歴史	経済学は大がかりな実験ができません。そこで、各国の多様な制度や歴史を手掛かりにして、政治、文化、社会など、多様な側面を考慮しながら、資本主義経済の仕組みを理解しようとする分野です。主流派の経済学を絶対視せず、批判的な目を持って理解するためにも欠かせない分野です。	政治経済学Ⅰ 一般経済史Ⅰ	政治経済学Ⅱ 一般経済史Ⅱ	経済学史 現代資本主義 日本経済史 西洋経済史 社会思想史
経営・会計	経済理論は、人や企業が合理的に行動すること、情報が完全に行き渡っていること、市場への参入・退出が自由であることを仮定しています。これを、立場を変えて、どうすれば合理的に行動できるか、どうやって情報を収集・処理するべきか、いつ、どうやって市場に参入・退出するべきかを考えます。3分野の中ではもっとも実践性を重視する分野です。	会計Ⅰ 会計Ⅱ 経営Ⅰ 財務諸表Ⅰ	経営Ⅱ 財務諸表Ⅱ	財務会計 管理会計 経営組織 ファイナンス 生産管理 情報処理 国際会計 経営分析 経営労務 マーケティング 経営戦略 監査 経営情報



幅広い教養・知識
理論的思考力

専門的知識

T字型人材の育成

どのような経済活動も、多くの人々の協働と多様な知識の結集によって成り立っています。製品を作って売するという単純な行為でさえ、何を作るのか、どうやって作るのか、作るのに必要な労働力・資材・資金の調達はどうするのかなど、それぞれに専門的な知識や技術、それらを担う人々の協力が不可欠です。そして、このために必要な知識は、人文科学や自然科学の領域にまで広がっており、そのすべてを一人で勉強してマスターすることは現実的ではありません。そこで、経済学部卒業生には自分自身の専門分野を磨くとともに、幅広い分野の人との協働を可能にする学識が求められます。ここでいう学識とは、コミュニケーションの基礎となるような幅広い教養や知識、および論理的思考力のことです。このような学識と専門的知識を兼ね備えた人のことをT字型人材と呼ぶことがあります。Tの横棒が異分野の人との連携を可能にする学識、縦棒の部分が深く掘り下げた自分の専門的知識の部分です。

名古屋大学経済学部は、前身である旧制名古屋高等商業学校（1920年創立）以来100年を超える伝統の中で、まさにT字型人材を育成してきたといえます。専門（Tの縦棒）を徹底的に鍛える3・4年次のゼミと卒論研究は、一人の教員が指導する学生を原則8名までとする徹底した少人数教育を厳格に実践しています。また、幅広い学識（Tの横棒）を獲得するために、1・2年次に行われる全学教育（一般教養）だけでなく、専門科目群の中に理論的アプローチ、歴史的アプローチ、事例研究、実地調査など多種多様な科目を用意しています。かつての旧制名古屋高等商業学校が、「単なる商業経済の専門学校でなく総合大学としての偉容を有する」と賞賛された、そのDNAを今に引き継ぎ、有為なT字型人材を自然に育むカリキュラムを展開しています。

経済学へのアプローチ
名古屋大学経済学部案内 2024

APPROACH

SCHOOL OF ECONOMICS

